

ふるさと歴史散歩

〔第120回〕 千代城跡 その一 広島湾頭波高し

府中町の南に千代城跡がある。城跡は、以前は鹿籠山と陸続きであったが山陽鉄道（現JR山陽本線）の敷設により分断されて見る影もない。昭和初期までは廓跡の平坦地が頂部にあったと言われているが、現在では崩れてしまっている。

山陽鉄道は、明治21年に民間の山陽鉄道会社によって、神戸から工事が着工され、明治27年6月に広島まで開通した。工事記録を見ると、用地買収が2年前に終わっている

のでその間に切り崩されたと推定できる。そして開通2か月後に日清戦争が勃発し、多くの軍需物資が運ばれた。ともかくこの開通で人や物が動き、県内外商品流通や商工業の振興に大きく貢献したのは言うまでもない。

さて、千代城が古文書に登場するのは室町時代初期に西遷してきた東国武士の白井備中守（惣領家）が居城と

した出張城の支城（白井氏の庶家）に関する記録であるから、今から500年前の戦国時代に、府中と広島湾頭を舞台に活躍した警固衆（水軍）白井氏にスポットを当ててみたい。白井一族の越中守のあたる人物は、佐東川（太田川）河口で何度も侵入してきた海賊船相手に戦い、武功を挙げた様子が古文書から見えてくる。

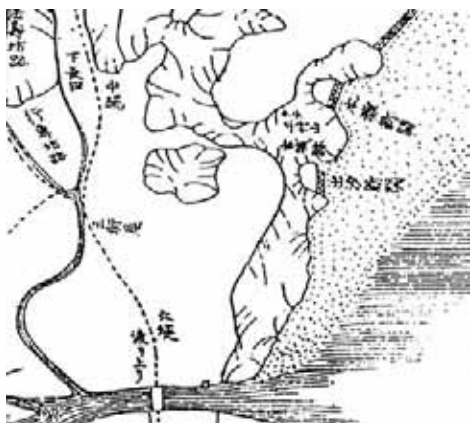
江戸時代の文政8年（1825）に完成した『藝藩通志』府中村付図に、「千代山・古城跡」と記され、出張城の支城的役割を果たしていた。その当時の千代城の南側は海浜となっており、広島湾を望む絶好の位置にあった山城である。この千代城には、白井氏一族が居城し、天文年間大内・毛利軍に抗したと伝えられる。出張城没落後は、白井備中の子の萬五郎が、大内氏に降参したがゆえ当城を守

らせたが、後、毛利氏に滅ぼされたと言う。しかし、萬五郎の名は白井氏系図の中に見られない。

なお近年歴史ファンが多いので、参考文献を挙げておく。

『萩藩閥閥録』、『東寺百合文書』、『毛利家文書』、『岩瀬文庫所蔵文書』、『成實堂文庫所蔵白井文書』、『厳島野坂文書』、『安芸府中町史』第一、二巻、『広島県史』中世、古代中世資料編Ⅰ～Ⅲ、『海田町史』通史編、『安芸府中の文化』第七集『広島―歴史と文化』、『河合正治「中世武家社会の研究」』、『相田二郎「中世の関所」』、『瀬戸内水軍―瀬戸内水軍資料調査報告書』、『菅原守編「藝州府中荘誌」』。

府中町文化財保護審議会会長 横田 禎昭



『藝藩通志』府中村付図の一部



正しいごみ出しにご協力を

府中町環境センター（八幡四丁目 1-1） ☎ 286-3266



ごみの特別収集

午前8時30分までに

ごみステーションに出してください。

12/23 (月・祝)	普通ごみ【月・木曜日収集地区】 有価物【月曜日収集地区】 新聞・雑誌、ダンボール、衣類、ビン・缶・金属類
12/30 (月)	普通ごみ【月・木曜日収集地区】 有価物の収集は行いません
12/31 (火)	普通ごみ【火・金曜日収集地区】 有価物の収集は行いません

※特別収集の日は、環境センターへの持ち込みは受け付けていませんので、ご注意ください。

※ごみの種類を間違えないようお願いします。

※12月30日(月)、31日(火)の有価物収集は行いません。

年末年始のごみ収集

12月	24日(火)～ 27日(金)	通常通り収集
	28日(土) 29日(日)	休み
	30日(月)	普通ごみのみ収集【月・木曜日地区】 有価物(月曜日収集地区)の収集は行いません
	31日(火)	普通ごみのみ収集【火・金曜日地区】 有価物(火曜日収集地区)の収集は行いません
1月	1日(水)～ 5日(日)	休み
	6日(月)～	通常通り収集

年末年始の環境センターへのごみの持ち込み受け付け

【年末】 12月27日(金)

午前9時～11時30分まで
※各種持ち込みごみの処分・搬送作業を行うため午後からの受け付けは行いません。

【年始】 1月6日(月)から通常通り

※大変込み合います。時期をずらすなど、ご協力をお願いします。

※ごみステーションに出す要領で分別し、持ち込んでください。

ごみの不法投棄は、犯罪です！
不法投棄を目撃した人は、警察に通報してください。

ごみを出す時間にごみをつけてください！
前日の夜や早朝に出すとカラスが見つけて荒らすことがあります。